



初期消火訓練

粉末消火器による消火と濡れシートを使用しての天ぷら鍋の消火訓練を行いました。

救出訓練

建物の下敷きになった人
たちを、バール、のこぎり、
角材などを使用して助け出
す訓練が行われました。



応急手当訓練

負傷者の応急手当法や三角巾きんの使
い方の訓練を行いました。



住民参加訓練



炊き出し訓練

市赤十字奉仕団、陸上自衛隊などによ
る野外炊飯訓練と、小学生が参加しての
アルファ米の炊き出し訓練が行われ参加
者全員に配られました。

市では、昭和39年6月16日に発生した新潟地震を教訓に、鳥屋野潟南西部（東京学館新
潟高等学校前）を会場として、6月16日に総合防災訓練を実施しました。
訓練は、震災日と同じ午後1時2分に佐渡沖を震源地としたM7.7の地震が発生し、
本市では震度6強、一部地域では震度7を記録したという想定で行われました。
当日は悪天候にもかかわらず、訓練会場には3000人が集まり、同日行われた小・中
学校などの避難訓練を合わせ約4万7000人が参加しました。
訓練会場では、地域住民が協力しての、初期消火、負傷者の救出、応急手当の各訓練を
行いました。また、防災関係機関による情報収集、救出・救援、復旧などの専門的な訓練
を実施し、災害援助協定を結んでいる川崎市、いわき市による緊急物資等輸送訓練も行わ
れました。

6月16日 震災日に47,000人が参加



総合防災訓練を実施

専門的訓練

ライフライン復旧訓練

地震により、ライフラインが途絶したとの想
定で、ガス、電力、電話、水道の各機関の復旧
訓練が行われました。



中高層建物における 負傷者救出訓練

倒壊ビルの屋上の負傷者を空
中のヘリコプターに収容するな
どの訓練が行われました。



交通多重事故対策訓練

近隣市町村の消防機関、日本赤
十字社などが参加し、負傷者の救
助や車両火災の消火などの訓練が
行われました。



陸上自衛隊による応急救橋設置訓練

国道高架が崩落したとの想定で、高架に
代わる仮橋の設置訓練が陸上自衛隊により
行われました。